

令和5年度 自己評価・学校関係者評価公表シート

作成 都島中野幼稚園

1. 本園の教育目標

「明るく元気に 心身共に健やか で何事にも意欲をもって挑戦することができる子ども」
「自分で感じ考え 行動できる子ども」 を教育の目標とし、日々の保育に取り組む。

○子どもたちが、五感を通して感じ・考えることを大切に、“幅広い体験”を重視し、調和の取れた豊かな教育を目指している。

○子どもたちの健やかな心身の成長を願い、食育に力を入れ、安心安全な食材の提供、食育指導などに取り組んでいる。

2. 令和5年度、重点的に取り組んだ目標・評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
安全管理	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 防火・防災・防犯について、各場面を細かく想定しながら避難訓練を実施する。・ 園舎や遊具の危険個所の点検、補修、環境整備を行う。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 月に1回火災・地震・津波などの災害や不審者対応などの避難訓練を実施した。・ 年3回保護者の方と一緒に園児の引き渡し訓練を実施した。・ 交通安全指導の内容をわかりやすくするための工夫をおこなった。・ 園庭の遊具のコーティング工事と、園内目隠しのためフェンスの必要な箇所にパンチングメタルパネルを設置し、防犯対策と小動物の侵入防止対策を行った。・ 年少組保育室の床のコーティング、抗菌工事をおこなった。・ 園庭遊びのために消毒方法を見直し、害虫の心配なく遊べるようになった。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 早期の安全点検実施により大きな怪我や事故がなく安全に過ごすことができた。・ 避難訓練は今後も場面ごとに園児がわかりやすい内容を工夫して継続していく必要があることを実感している。次年度も安全のために、訓練とわかりやすい指導を工夫し実施する。
教育内容の充実	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 毎月の課題をきめ、子どもたちが考え行動することで正しい生活習慣を身につける。・ 考える力を育てるための体験や遊びを通し、個々の持っている力を伸ばす。・ 体育指導の中で体幹を育てる運動や遊びを継続してつづけていく。 <p>取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 具体的な目標を毎日繰り返し再確認することで必要な生活習慣を身につけるようにし月末にはクラス別に取り組み状況を評価しあった。・ 体育遊びや科学遊び、自然に触れる遊びを工夫して、できるだけ幅広い体験の機会をつくった。 <p>評価</p> <ul style="list-style-type: none">・ 園生活が日常に戻ったことでこれまでできなかった行事を再開し楽しい経験の機会を増やすことができた。・ できなかった宿泊保育を行い、子どもたちにとって楽しい思い出づくりとなった。・ これまで実施できない期間の取り組み方法が簡略したものになり、再度確認するのに時間がかかることになった。・ 反省点をもとに次年度からさらに充実した活動ができるように、保育内容を思いきって見直し考える必要がある。

<p>子育て支援</p>	<p>目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 親子登園の内容や回数を通常通りに戻し、未就園児の育児支援と保護者間の親睦を深める場となることを目標とする。 園児と地域の未就園児の保護者に対し、月1回キンダーカウンセラー相談を行い、積極的に育児支援にとりくむ。 預かり保育の内容の工夫と利用しやすいシステムを導入する。 <p>取り組み状況と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 未就園児親子登園の回数(月3回)と内容をできるだけ以前の状態に戻る様につとめた。参加者も少しずつではあるがふえてきた。不安な問題を相談ができる様に回り、カウンセリング相談につなげることができた。 教員は必要な研修に積極的に参加して、支援できる体制づくりをした。 預かり保育の新システム導入により、少しずつ煩雑解消ができるようになった。
---------------------	---

3. 学校評価の具体的な計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> 教職員一同が協議を重ねて保育や行事にとりくむことができた。 突然の自然災害や病気、事故などに対して、子どもたちが自分で自分の身を守る力をつけるためにあらゆる場面を想定して引き続き、防災や防犯訓練などを継続して実践していく必要を感じてた。今後も子どもたちの成長に必要な活動ができる様、協議を積み重ね、積極的に研修に参加し努力する。 長年慣例通り実施していた行事内容や実施方法の見直しを行うことができた。 子どもたちにとって一番よいかたちで、あわせて教員の負担を減らす工夫をし、レベルの高い保育を行っていける様に考える。行事(運動会・発表会など)の方法や時期も考える。

4. 次年度に取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
<p>安全管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園内の安全点検の実施と危険個所の補修を引き続き定期的に行う。 <ul style="list-style-type: none"> 園庭での怪我を防ぐための安全対策工事を行う。 プール遊びの時の外部からの目隠し設置工事を行う。 毎月の防災、防犯、避難訓練の内容を充実する。 交通安全の訓練と様々な危険を防ぐためにわかりやすい指導を行う。
<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新システムのアプリ導入を行い、保護者の利便性を高め、保育内容を保護者にわかりやすく発信して園と家庭が一体となって子どもたちの成長を助けていくよう努力する。 未就園児親子登園内容の向上と未就園児保護者対応の育児支援を行う。参加しやすい方法や回数、あわせて園庭開放を開始し幅広いよびかけをする。 月1回のキンダーカウンセラーの機会を広く周知し支援体制を整える。
<p>教育内容の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育内容をさらに充実、多くの体験活動を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> 専門講師指導の下、絵画・造形指導の充実、収穫体験、クッキング植物栽培、科学遊び・木工制作、イラストワークショップなどの機会をつくり、自分で考え、表現する力をつける。 夏の音楽会・マジック・人形劇鑑賞会など芸術鑑賞の機会を工夫する。 体幹を鍛える指導を引き続き実施する。 考える力をつけるために科学体験や実験、ワークブックの指導を行い、個々の興味や一人ひとりの力にあわせた指導内容を工夫する。

5. 学校関係者の評価

- ① 感染症が一段落した機会にあわせて、これまでできなかった保育内容を充実させることができていると考える。次年度からも保育内容を充実させ、子どもたちが日常をとりもどすことができるようにしてほしい。
- ② 少子化が進む中、幼稚園だけでなく地域に育つ子どもたちの育児支援もできればよいと考える。
- ③ 幼稚園の子どもたちは楽しく毎日を過ごすことができ、成長していくことができたと喜んでいる。
- ④ 自然災害や交通事故、犯罪など危険な状況が多く、安全指導にも重点をおいてほしい。

6. 財務状況

公認会計士監査により、「適正に運営されている」と認められている。